

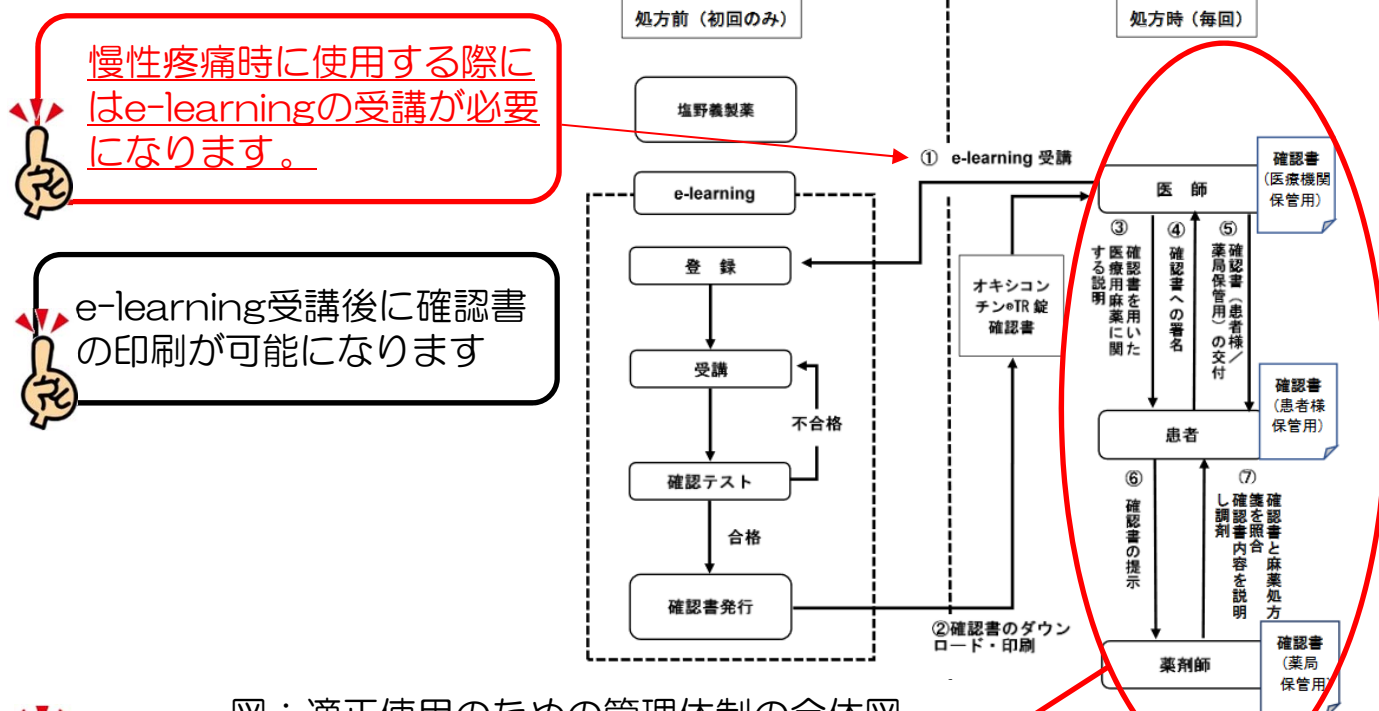


オキシコンチンTR錠の新しい運用を開始します。

オピオイド系鎮痛薬のオキシコンチンTR錠(一般名：オキシコンチン塩酸塩水和物)の効能・効果に、「非オピオイド鎮痛薬又は他のオピオイド鎮痛薬で治療困難な中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛」を追加承認したことを受け、適正使用についての留意事項が発出されました。それに伴い、院内でも適正使用のための運用を12月15日より開始します。

適正使用のための留意事項について

・ポイント



図：適正使用のための管理体制の全体図

処方時に毎回確認書を印刷し、患者の署名が必要となります。また、その確認書を薬局へ提出することで調剤が可能になります。

薬局側は、薬歴やカルテ等から「慢性疼痛」か「がん性疼痛」のどちらであるか確認の上、調剤を行うことが必要となります。

裏面に当院の新しい運用を掲示しています。



○院内処方での運用

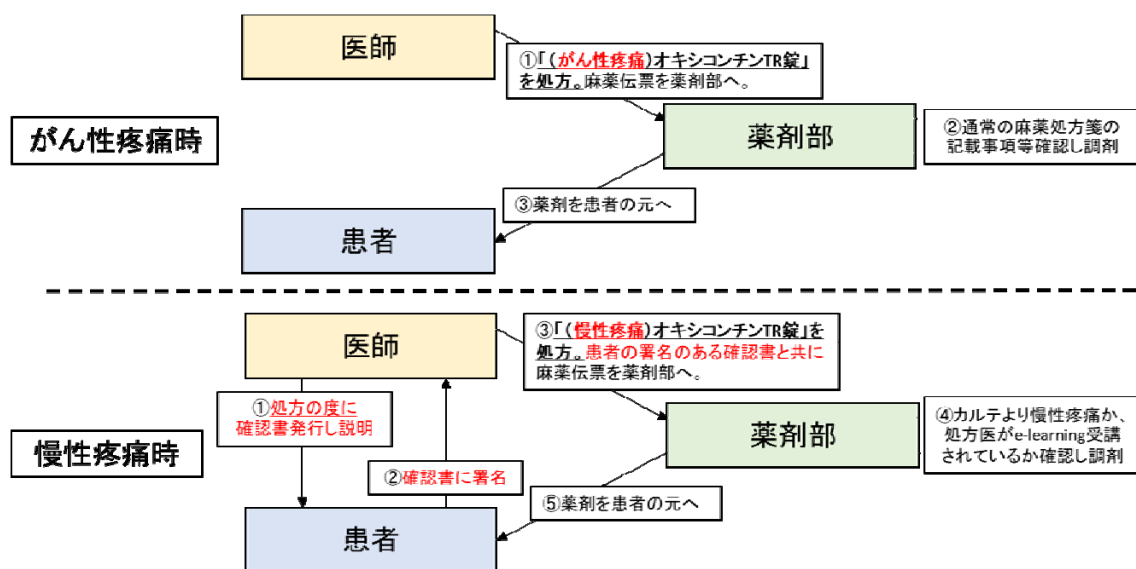
①処方時に「オキシコンチンTR錠」を検索すると「(がん性疼痛)オキシコンチンTR錠」と「(慢性疼痛)オキシコンチンTR錠」が表示されます。



②各々使用する疾患に該当する薬品名を選んでいただきます。



③慢性疼痛時には、e-learning受講が必要であることと処方の際に確認書が必要であることが表示されます、確認書を印刷し、患者へ必要事項を説明して患者の署名を頂いた上で麻薬処方箋と共に薬剤部へ提出して下さい。



院内運用フローチャート

○院外処方での運用

①処方時に「オキシコンチンTR錠」を検索すると「(がん性疼痛)オキシコンチンTR錠」と「(慢性疼痛)オキシコンチンTR錠」が表示されます。



②各々使用する疾患に該当する薬品名を選んでいただきます。



③上記と同様の内容が表示され、「(慢性疼痛)オキシコンチンTR錠」を選択した場合のみ「【般】オキシドール徐放錠5mg(乱用防止製剤)(慢性疼痛)」と処方箋に記載されます。

この運用は12月15日より開始予定ですのでご確認のほどよろしくお願いします。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。

(文責：櫻井)